

## 熱中症防止対策

大会主催者は、大会に関わる選手・監督・応援生徒・引率者・保護者・幼児の熱中症が懸念される場合は、以下に示すよう対応いたします。あらかじめご確認ください。

### <マスク着用について>

- (1) 屋外…身体的距離が2m以上確保できる場合、マスクの着用は必要ではない。  
また、身体的距離が2m以上確保できなくても、ほとんど会話がなない場合は必要ではない。ただし、身体的距離が2m以上確保できない状況で会話がある場合は着用する。
- (2) 試合、ウォームアップ、クールダウン等、運動を行う場面では、熱中症対策を優先してマスク着用の判断をする。

### <選手・監督>

- (1) 大会前日は十分な睡眠時間を確保する。
- (2) キャップを可能な限り着用する。
- (3) チェンジサービス時及びファイナルゲーム中のチェンジサイズ時の給水を認める。ただし、チェンジサイズ時にボトル等を審判台下へ移動した上で、ベンチからのアドバイスのないことを条件とする。
- (4) コートへのクーラーボックスの持ち込みを認める。また、感染症防止の観点から、人との距離を保つため、選手がクーラーボックスに座ることを認める。
- (4) 競技規則第37条の周知  
「プレーヤーに身体上の故障が生じ、プレーの継続ができなくなった場合、同一人物が1回につき5分以内、かつ同一マッチで2回以内のタイムをとることができる。」
- (5) 競技規則第38条の禁止事項の緩和  
「プレーヤーはマッチ中パートナー以外の者から助言及び身体上の手当を受けてはならない。」について、「身体上の手当は、監督・コーチ等の大人が速やかに行う。」こととし、健康上の危機管理を最優先する。
- (6) 競技規則第39条の周知「プレーヤーにタイムが認められたが、許容時間内に回復ができなかった場合、タイムアップゲーム セットとなり、棄権となる。負けとなったペアがすでに得たポイント及びゲームは有効とする。」

### <応援生徒・引率者>

- (1) 避暑を目的としたテントを可能な限り持参し設営する。
- (2) キャップを可能な限り着用する。
- (3) 応援の際も、必ず水分補給を行う。
- (4) 日傘を可能な限り利用する。ただし、白色・銀色の傘はソフトテニスマナー上使用不可とする。
- (5) 異変を感じた場合は、速やかに本部救護室へ報告する。

### <保護者・幼児>

- (1) 地面からの照り返しは小柄な幼児ほど悪影響のため、幼児への熱中症注意・配慮を最大限に行う。
- (2) 日傘を可能な限り利用する。ただし、白色・銀色の傘はソフトテニスマナー上使用不可とする。
- (3) 普段より多めの水分を参加生徒に持参させる。
- (4) 異変を感じた場合は、速やかに本部救護室へ報告する。

### <大会役員>

- (1) 会場での熱中症注意喚起を定期的に行う。